



おまたせしました。

新潟市美術館、リフレッシュ。
2025年8月30日、



開館40周年記念

ほぼせんてんてん、

リスタート、約1,000点ならべます。

2025年8月30日[土]～
9月28日[日]

開館時間：午前9時30分～午後6時
※観覧券の販売は午後5時30分まで
休館日：月曜日（ただし9月15日、9月22日は開館）

観覧料 一般 700円(500円) 大・高校生 500円(300円) 中学生以下 無料

※()内は、20名以上の団体、リピーター割引料金(本展覧会券の半券提示で本展2回目は団体料金に割引)/あっちも割(新潟市新津美術館観覧券提示で団体料金に割引、1回1名、1年間有効)/障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方、および一部の介助者は無料(受付でご提示ください)
主催：新潟市美術館 会場：新潟市美術館 〒951-8556 新潟市中央区西大畑町5191-9 TEL:025-223-1622 FAX:025-228-3051
背景：パウル・クレー《ブルンのモザイク》1931年、当館蔵



リスタート、約1000点ならべます。
おまたせしました。

開館40周年記念

ほぼせんてんてん、

01 小山正太郎《テルテル坊子》制作年不詳/02 佐藤哲三郎《下着》1926 年/03 中村環二《濁沢のグレンダ》1954 年/04 ウェーブ・カリエール《若い娘の顔部》1895 年頃/05 高松次郎《影(響)No.176》1967 年=The Estate of Takamatsu, Courtesy of Yumiko Chiba Associates, Tokyo/Pace Gallery, New York and Stephen Friedman Gallery, London./06 矢部友成《妻(ふみ)》1946 年/07 豊郷(クリーチャー) 1974 年/08 嵯峨リツ子《詩人の肖像(池田源人)》1960 年/09 加藤一也(少女)1935 年/10 牧野松城《風景》1914 年/11 安宅安五郎《春》1929 年/12 藤井浩佐《爪を切る女》1927 年/13 森川キエ《心(きこ)》1967 年/14 岩田正巳《神功皇后》1931 年/15 金子孝彦《にわたづみ》1938 年/16 山田正康《Work C.138》1963 年/17 喜岡哲一郎《雪 嵯峨川川口》1984 年/19 斎藤寅次郎《馬のある風景》1937 年/20 アリステイド・マイヨール《ディアの顔部》1943 年/21 アントワーン・ブールデル《アポロンの首》1898-1909 年/22 鳥居敬文《ロバに乗る少年》1937 年/23 シャルル・デスビオ《少年(ビエール)》1914-1925 年/24 渡辺豊重《丸と重なっている棒の付いた四角》1982 年/25 宮崎達《黒の風景(鎌倉)》1993 年/26 堀内正和《肖像》1959 年/27 佐藤哲三《原野》1951 年/28 倉石隆《やせた塚崎》1977 年/29 近藤浩一《路(定一口村)》1925 年/30 橋本龍英《山河在り》1979 年/31 宇佐美圭司《霧の街に沈む》1984 年/32 岡本南貴《マトとナス》1946 年/33 白井徳重《水仙》1921 年/34 長谷川秋一郎《自画像》制作年不詳/35 山口長男《裸れた形》1956 年/36 中西利雄《春 NO.4》1937 年/37 中西夏之《紫・むらさきXIII》1982 年=「NATSUYUKI NAKANISHI」/38 オディロン・ルドン《丸い光の中の子供》1900 年頃/39 ビエール・ボナール《浴室の裸婦》1907 年/40 ビョートル・コンチャロフスキー《柳の風景》制作年不詳/41 末松正樹《群像》1950 年/42 牛岡茂建《幼年の「時間」》1980 年頃/43 草間彌生《南瓜》1984 年=「YAOI KUSAMA」/44 竹谷富士雄《モンマルトル暮色》1983 年/45 石川直樹《湖と里山 新潟市西蒲区 角海浜 マクリダシ》2017 年(撮影 2015 年)/46 脇田和《黄色い鳥》1991 年/47 李禹煥《点より》1980 年/すべて当館蔵

皆様、おまたせしました。

新潟市美術館はおよそ11ヵ月にわたる改修工事を終え、8月30日に再開館します。その最初の展覧会は、5,000点を超える所蔵品の中から資料をあわせて約1,000点を一挙公開するというものです。お馴染みの名品から当館の什器・展示資材・建物のカケラに至るまで、さまざまな「モノ」を多彩なテーマに沿って紹介します。本年、2025年10月に開館40周年を迎える新潟市美術館の歴史上、これまでにない規模・内容の展示になること間違いありません。皆様のご来館お待ちしております。

会期 2025年8月30日(土)～9月28日(日)
休館日 月曜日(ただし9月15日、9月22日は開館)
開館時間 午前9時30分～午後6時
※ 観覧券の販売は午後5時30分まで
観覧料 一般700円(500円)、
大・高校生500円(300円)、中学生以下無料

* ()内は、20名以上の団体、リピーター割引料金(本展覧会券の半券提示で本展2回目は団体料金に割引)
あっちも割(新潟市新津美術館観覧券提示で団体料金に割引、1回1名、1年間有効)
* 障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方、および一部の介助者は無料(受付でご提示ください)

主催 新潟市美術館

関連事業

ミニコンサート

演奏 廣川抄子(ヴァイオリン)、金子由香利(フルート/ピッコロ)、斉藤晴海(ピアノ)
日時 8月30日(土) 午後1時50分～午後2時10分/午後4時～午後4時20分
会場 新潟市美術館 エントランスホール
申込不要、参加無料

「前川國男と新潟市美術館 - 生まれ故郷に残した遺作をめぐって -」

講師 松隈洋(建築史家、神奈川大学教授) 申し込み方法 下記の二次元コードより必要事項を記入のうえ申し込み
日時 9月13日(土) 締め切り 8月29日(金) 午後5時
会場 新潟市美術館 2F 講堂 (応募多数の場合は抽選)
事前申込制、要当日観覧券

○レクチャー(定員80名。午後1時～受付開始) 午後1時30分～レクチャー(約60分) 午後2時30分～クロストーク(約30分。聞き手・当館学芸員・藤井素彦)
○建物ツアー(定員20名。午後3時～受付開始) 午後3時30分～建物ツアー(約60分。バックヤード、外周含む。悪天候の場合、外周はなし。)



学芸員による美術館見学ツアー

講師 当館学芸員
日時 9月27日(土) 午後2時～午後2時30分 申し込み方法 右記の二次元コードより必要事項を記入のうえ申し込み
会場 新潟市美術館 館内 締め切り 9月12日(金) 午後5時
事前申込制、要当日観覧券 (応募多数の場合は抽選)



第57回新潟市美術館

前期 10月15日(水)～10月19日(日)
(洋画・彫刻・工芸・版画部門)
後期 10月22日(水)～10月26日(日)
(日本画・書道・写真部門)

開館40周年記念 長坂コレクション
はじめましての西洋絵画
11月1日(土)～2026年1月12日(月・祝)

新潟市美術館
Niigata City Art Museum

■小さなお子さんがいる、障がいがあるなど、何らかの理由で来館を迷っている方へ車椅子やベビーカーの無料貸し出し、授乳室のご案内をしています。そのほかにも、来館の際にご心配ごとがあればお問い合わせください。可能な範囲で対応します。■交通案内●バスで新潟駅バスターミナルから[C6/八千代橋線]乗車時間約16分→「西通八番町」下車→徒歩5分(約400m)※便数は多くありませんが美術館最寄りのバス停です。[B1萬代橋ラインなど]乗車約10分→「古町」下車→徒歩12分(約860m)※最も便数が多いです。[観光循環バス]乗車約30分→「北方文化博物館新潟分館前」下車→徒歩6分(約500m)●タクシーで新潟駅万代口から約10分●自転車で「無料駐車場最大46台まで」A: [高道道路]日本海東北自動車道 新潟亀田ICを降り、柳都大橋経由で約20分 B: 国道8号線(新潟バイパス) 桑竹山ICを降り、柳都大橋経由で約15分※駐車場情報は当館ウェブサイトでご確認ください。

〒951-8556 新潟市中央区西大畑町5191-9
TEL 025-223-1622 FAX 025-228-3051
https://www.ncam.jp/

